

「首都圏任期制隊員合同企業説明会」において予備自衛官等制度をPR

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本貞祐）は、8月7日（火）、8日（水）の両日、東京流通センターで実施された「首都圏任期制隊員合同企業説明会」において予備自衛官等制度の広報を実施した。

「首都圏任期制隊員合同企業説明会」は、首都圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）に就職を希望する陸・海・空の任期制退職予定隊員等を対象とした企業説明会で2日間に亘り494社の企業が参加しており神奈川県本は予備自衛官等制度広報の格好の場と据え、例年本説明会に参加している。

当日地本は会場に説明ブースを開設して、訪れる任期制隊員等に対して予備自衛官等制度パンフレットを活用して、制度について説明をするとともに理解と認識を深めさせ、退職する際には志願するよう勧誘を実施した。また、参加企業のうち即応予備自衛官を未雇用の企業に対しても制度の周知と理解を求めた。

神奈川地本は、「今後も引き続き、同様の機会を活用して、予備自衛官等制度の周知を図り、志願者の確保及び企業の制度理解に繋げていきたい」としている。



予備自衛官等制度の説明を受ける任期制隊員

7月1日募集解禁に併せ高校生に対し横須賀基地で募集広報

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 松浦一海尉）は、7月1日（日）横須賀地方総監部主催の艦艇見学等において募集広報を行った。

当日は、少しの行動でさえも額に汗をかくほどの真夏日であったが、横須賀市内に所在する私立高校の「学校法人湘南学院 湘南学院高等学校」、「学校法人三浦学苑 三浦学苑高等学校」及び「学校法人緑ヶ丘学院 緑ヶ丘女子高等学校」の学生が13名、父兄と教諭を含めた計18名が参加した。最初に、横須賀地方総監部庁舎にて横須賀地方総監部防衛部（安達2海佐）から、海上自衛隊の編成や任務及び災害派遣での活動などの説明があり、学生達は真剣な眼差しで説明を聞いており関心の高さが窺えた。その後、艦艇見学のため停泊している岸壁へ向かい、護衛艦「たかなみ」を間近に見た参加者達はその大きさに感激していた。

緊張した面持ちで「たかなみ」へ乗艦すると、乗員が舷門で1人1人に敬礼をしながら出迎えてくれ、艦首甲板上で概要説明を受けた。

その後、大砲やミサイルや魚雷等の説明を聞いた後、そのまま艦橋まで一気に登ったり、双眼鏡を覗いてみたり、普段は座ることのできない艦長の椅子に座ったりして写真撮影を行っていた。その後、居住区、士官室、機械室、トイレ及び浴場等くまなく艦内を巡り見学を終了した。見学の途中から、「たかなみ」艦長も一緒に同行し、見学の最後に参加者達とともに記念撮影を行った。

参加者達は興奮も冷めやらぬまま「たかなみ」を退艦し、港内クルーズのため海上自衛隊のタグボートに乗艇した。横須賀港内を周回し海上から護衛艦や潜水艦、横須賀基地や米海軍基地などを間近に見られた参加者達は、基地の広さに圧倒されながらも、夏の暑さをもろともせず約1時間の港内クルーズを楽しんでいた。

参加した学生からは、「実際に働く隊員と直接話が出来て自衛隊を身近に感じる事ができました。海上自衛隊に対する理解や関心がより深まりました。」との声が聞かれた。

横須賀地域事務所は「今後も、学生に対し直接説明できる機会を積極的に活用し、防衛省自衛隊の魅力をより多くの人へ伝え、熱意ある志願者の獲得ができるよう努めていく」としている。



艦橋にて説明を受けている様子



興味を持つ高校生



敬礼されながら護衛艦たかなみへ



海上自衛隊の説明を聞く様子